

発行年月日	令和7年3月6日
作成	火災調査担当
発行番号	2025-19号

国境をまたいだ火災鑑識



令和7年3月某日 豊島消防署管内で発生したモバイルバッテリー（海外製）の火災の鑑識調査を、テレビ会議機能（ZOOM）を使って海外にいる技術者と豊島消防署の火災調査員が鑑識調査を行いました。

会議や打合せ、災害現場と署隊本部間でのテレビ会議は使用していましたが、海外企業とテレビ会議で鑑識調査を実施するのは豊島消防署では初の試みで、言葉の壁はありましたが、通訳を交えて、火災原因の究明に尽力しました。

リチウムイオン電池に起因する火災が急増しています。落としたりして衝撃を受けたものや、使用時に高温になるなどの不具合があるものは火災が発生する可能性があります。不具合があるものは使用しないようにしましょう。